

迦陵園だより

2024 (令和6) 年9月発行
 社会福祉法人 迦陵園
 (児童養護施設)
 〒606-0802
 京都市左京区下鴨宮崎町109
 TEL (075)701-0250
 H P <http://karyouen.or.jp>
 発行人 社会福祉法人迦陵園
 編集 迦陵園 広報担当

養育理念 子どもの心に寄り添い安全で安心な生活を保障する。

基本方針

- ▶ **権利擁護** 子どもたちがひとりの人間として尊重され、自己実現を目指していけるよう支援する。
- ▶ **アタッチメントの形成** 大人との関係の中で安心感を育み、子どもが健やかに成長できるよう支援する。
- ▶ **地域福祉への貢献** 児童福祉で培った知識や経験を積極的に地域へ還元する。

施設の課題と対応 — 変わりゆく潮流の中で —

理事長 廣 啓 司

ロシアによるウクライナ侵攻が契機となったかの如く、2年前からの国際情勢は人としての秩序を失って現在に至っているように見えます。またその侵攻が、不思議にもコロナウイルスの世界的感染との各国の戦いがようやく終わった直後のことであったこともあって、世界はコロナが完全に消滅したか如く、感染に対する防備を解除し、自由な経済や文化の活動を推奨しながら現在に至っています。

言い換えれば、コロナの恐ろしさを忘れた状態で、世界全体が欲望充足の文化に傾いていると言えないでもないのであります。

更に指摘しておかなければならないのは、前回のコロナ感染対策として、政府が私達に示した行動規制は全て解除され、その後に通達された厚生労働省の規制では、コロナ感染者の必要静養期間を5日間に縮小していることであります。何を根拠にしたのか不明ですが、その結果、ウイルス保有者の外出や遊交による感染増加を来たすことは避けられませんが、そしてその感染者増加の現状を示すかのように、この7月、米国のバイデン大統領のコロナ感染の公表や、我が国でのコロナによる入院者の増加が報じられ、当迦陵園においても、入園児童や職員に感染療養者が現れ、隔離静養に専念していました。

又、こうした時代の流れの中で、最近課題になっている問題に、特に思春期を迎えた児童の深夜の外出遊興への指導の難しさがあります。この問題は、自由に遊びたい心理状態にある児童にとっては自然

なことであるだけに、指導職員の教育観・人生観によって、具体的な指導の仕方が違ってまいります。

その為に、当施設としては、思春期児童への対応については、職員会議においてその具体的あり方を検討して当たることとしていますが、児童の自由時間の使い方が、当施設内の生活環境の状況とも大きく関係してまいりますので、昨年その改良を検討し、既に工事に着工、この8月までには完了する予定となっております。

その完成の暁には、外出によって他の友達と深夜遅くまで遊ぶことから、その友達を自分の施設に招いて楽しく談笑することの方へ変化し、「施設が楽しいわが家」というようになれば良いが、と思っているところでありますが、その為の方策も問われることになりましょう。

時代は変わって行きます。刻々と変わり、人も生々流転しながら、一涯の成果を子どもたちに伝えて去ってゆく宿命の中で、みんなが頑張り合っていると信じねばなりません。

その上で、当迦陵園は来年(令和7年)5月10日、法人設立65周年、難聴者治療施設として昭和23年4月に三重県津市において発足してより77周年を迎えます。その間、加藤康祐初代理事長の時から養育した名誉ある足跡に感謝しながら、未来を誓う記念会を催す予定でございますので、皆様におかれましては、今後共によりよく御支援の程お願い致します。



2024年スタート!



卒園・卒業お祝い会 おめでとう!



文化の集い 歌とバンドの発表♪



イタリア料理奉仕



♡ホワイトデー♡



白菜取れたよ



園庭で大根もとれました



2023年度終了!



はるさんに紙芝居を読んでもらいました



育児休業を取得し、今年の4月から復職してくれた お二人にインタビュー



迦陵園に勤めて10年弱、“このままここで働いていけるのか”。最も真剣に考えなければならない局面を迎えました。施設の子どもも同じように大事にしたい、でも最優先は自分の子でなくてははいけない。そのことにプレッシャーさえ感じていました。施設の子どもたちを見ていて、子どもにとっての親という存在の大きさを身に染みて感じているから尚更でした。両立できる自信など全くありませんでした。

また迦陵園ではこれまで育児休業から戻ってきた女性職員もおらず、勤務形態も新たに考えて貰う等たくさんのご負担をおかけすることになりました。子どもたちや職員のみなさんに、どのように受け入れてもらえるだろうかと、初日は胃をキリキリさせながら出勤

したことを覚えています。

復帰してから4ヶ月、まだまだ戸惑いはあります。初めて担当フロアを持たず、フリー職員として働くことになりました。自身も慣れないことが多いですが、他職員も私とどのように協働すれば良いのか迷い、たくさん負担もかけているので、不満がある方もいるはずです。それでも理解して、助けてくれていると思うと、感謝しかありません。出産を経て、親からの愛情がなければ乳児期を乗り越えることはできないのだと気づきました。子どもたちに今の自分だから伝えられることは何なのか、職員のみなさんに何が返せるのか、日々模索しています。子どもの貴重な成長を最も近くで見守ることができるこの尊い職業に、できるだけ長く関わることができればと思うこの頃です。

ケアワーカー まつだ



私には子どもが3人います。第3子が産まれた時に育児休業を取得しました。育児休業分割取得制度の開始時期でした。私は妻の産後に1ヶ月取得後に復職。しばらくしてから再び7ヶ月の育児休業を分割して取得しました。復職予定の矢先に自治体より「お子さんの保育園が見つからない」と連絡があり妻と「働き方をどうしようか」と悩んでいたところ育児休業を再延長できることを知りました。施設長とも十分に相談し、合計1年7ヶ月の育児休業を取得させていただきました。

育児休業中は、妻と話し合い家事や育児の役割分担をしました。第1子が小学生、第2子が年少の兄弟がいるので、1日の生活が小学校・保育園・自宅での子育てと三通りありました。三者で生活スタイルが違うので1日中バタバタして気が付いたら夜になるという日々でした。

育児なので毎日忙しいことは当たり前です。第1子

と第2子の時は育児休業を取得しなかったのが毎日未知との遭遇でしたが、忙しさの中は楽しいことがいっぱいでした。なにより毎日、子の成長に向き合えるのは嬉しく幸せでした。「なぜ今まで育児休業を取得しなかったのだろう」と感じていたのと同時に「自分は育児に十分に向き合ってこなかったのではないか」とも感じました。

育児休業から明けて復職し、迦陵園の子どもたちは私を受け入れてくれるか心配でしたが、子どもたちより「待ってたよ!」と言われ、嬉しさでいっぱいでした。将来、私と同じように育児休業を取得する職員が、少しでも安心して復職できるように、働き方モデルとなれるよう日々頑張っています。職員が結婚や出産で生活スタイルが大きく変わってもこの仕事を続けたいという希望が叶えられるように働き方の模索を続けていきたいです。

ケアワーカー かわべ

● ● ● 新規採用職員のご案内 ● ● ●



パワフル全開！優しさ全開！で頑張ります！
よろしくお祈いします！！

ケアワーカー まつくぼ

絶えず学び、考え続けながらも、
目の前の子どもたちを第一に頑張ります！
よろしくお祈いします！



ケアワーカー さかがみ



● ● ● 2023年度決算のご報告 ● ● ●

(単位：円)

資産の部			負債の部				
当年度末	前年度末	増減	当年度末	前年度末	増減		
流動資産	127,400,957	77,004,312	50,396,645	流動負債	59,825,765	15,966,937	43,858,828
普通預金	52,399,340	46,063,510	6,335,830	事業未払金	46,025,970	4,066,313	41,959,657
預け金(電子マネー)	71,204	34,552	36,652	未払費用	1,400,000	1,060,000	340,000
事業未収金	71,955,536	28,107,239	43,848,297	職員預り金	3,294,795	2,035,624	1,259,171
前払金	2,406,377	2,263,011	143,366	仮受金	5,000	5,000	0
その他の資産	568,500	536,000	32,500	賞与引当金	9,100,000	8,800,000	300,000
固定資産	424,346,769	389,614,450	34,732,319	負債の部合計	59,825,765	15,966,937	43,858,828
基本財産	163,353,464	166,938,697	△3,585,233	純資産の部			
土地	128,818,800	128,818,800	0	基本金	159,009,816	159,009,816	0
建物	34,534,664	38,119,897	△3,585,233	基本金	159,009,816	159,009,816	0
その他の固定資産	260,993,305	222,675,753	38,317,552	国庫補助金等特別積立金	41,822,924	26,985,300	14,837,624
構築物	42,649,123	3,155,655	39,493,468	国庫補助金等特別積立金	41,822,924	26,985,300	14,837,624
構築物	320,540	352,567	△32,027	その他の積立金	203,047,152	203,042,252	4,900
車両運搬具	2,860,279	3,907,369	△1,047,090	人件費積立金	51,430,391	51,429,364	1,027
器具及び備品	12,116,211	12,217,910	△101,699	施設整備等積立金	151,616,761	151,612,888	3,873
人件費積立資産	51,430,391	51,429,364	1,027	次期繰越活動増減差額	88,042,069	61,614,457	26,427,612
施設整備等積立資産	151,616,761	151,612,888	3,873	増減差額	88,042,069	61,614,457	26,427,612
				増減差額	26,432,512	14,905,443	11,527,069
				(うち当期活動増減差額)	491,921,961	450,651,825	41,270,136
資産の部合計	551,747,726	466,618,762	85,128,964	純資産の部合計	491,921,961	450,651,825	41,270,136
				負債及び純資産の部合計	551,747,726	466,618,762	85,128,964

(単位：円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動増減の部	収益	253,750,083	228,590,774	25,159,309
	児童福祉事業収益	5,391,000	5,149,000	242,000
	保育事業収益	5,188,275	6,012,037	△823,762
	経常経費寄附金収益	264,329,358	239,751,811	24,577,547
	サービス活動収益計(1)	171,639,173	160,871,419	10,767,754
	費用	42,267,784	41,563,765	704,019
	人件費	21,695,810	21,976,823	△281,013
	事務費	7,863,778	8,593,219	△729,441
	減価償却費	△5,302,376	△5,855,530	553,154
	国庫補助金等特別積立金取崩額	238,164,169	227,149,696	11,014,473
サービス活動費用計(2)	26,165,189	12,602,115	13,563,074	
サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	21,800	22,448	△648	
サービス活動外増減の部	収益	1,913,046	1,992,790	△79,744
	受取利息配当金収益	1,934,846	2,015,238	△80,392
	その他のサービス活動外収益	1,527,520	1,211,910	315,610
	サービス活動外収益計(4)	1,527,520	1,211,910	315,610
	費用	1,527,520	1,211,910	315,610
サービス活動外費用計(5)	407,326	803,328	△396,002	
サービス活動増減差額(6)=(4)-(5)	26,572,515	13,405,443	13,167,072	
経常増減差額(7)=(3)+(6)	20,000,000	3,189,000	16,811,000	
特別増減の部	収益	20,000,000	3,189,000	16,811,000
	施設整備等補助金収益	3	0	3
	特別利益計(8)	20,140,003	1,689,000	18,451,003
	固定資産売却損・処分損	△140,003	1,500,000	△1,640,003
費用	20,140,003	1,500,000	18,451,003	
特別増減差額(10)=(8)-(9)	26,432,512	14,905,443	11,527,069	
繰越活動増減差額(11)=(7)+(10)	61,614,457	46,731,185	14,883,272	
当期繰越活動増減差額(12)	88,046,969	61,636,628	26,410,341	
当期未繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	0	0	0	
基本金取崩額(14)	30,014,234	0	30,014,234	
その他の積立金取崩額(15)	30,019,134	22,171	29,996,963	
その他の積立金積立額(16)	88,042,069	61,614,457	26,427,612	
繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)				



ご支援心から感謝申し上げます。

(2024年1月～2024年7月／敬称略、順不同)

【ご寄附】

大西みち子、淀義明、田中由佳、北健作、西脇芳子、小林宏史、美鈴サンタ事務局、京滋お部屋探しネット、NPO法人ENDEAVOR EVOLUTION、大日倉庫株式会社、大日倉庫株式会社社員一同

【物品のご寄贈】

武藤康司、宇高節子、和田寶鏡、グランマChie、谷口仁美、岡部、新多良子、上西祥邦、中村丁慧、ナカオ、矢作亮平、稲本むつ子、中野陽子、門司一徹、大西みち子、三嶋一枝、荒木麻実、田中由佳、戸田真佐代、ミヤケ、来家恵美子、岩手缶詰株式会社、ハチ食品株式会社、株式会社大丸松坂屋百貨店大丸京都店、笹屋伊織、丸善食品工業株式会社、デイリーフーズ株式会社、株式会社日清製粉ウェルナ、讃陽食品工業株式会社、文屋、丸美屋食品工業株式会社、三育フーズ株式会社、株式会社マルハチ村松、株式会社ニッスイ、大相撲京都場所、日東アリマン株式会社、医療法人社団洛和会、ゴールドパック株式会社あずみ野工場、京都豆菓子協同組合、国分グループ本社株式会社、カーブスフードドライブ、スポーツコミュニケーションKYOTO株式会社、株式会社わかさ生活、協同食品株式会社、株式会社チュチュアンナ、黒本歯科クリニック、京都ユネスコ協会、株式会社コンセプト、株式会社いちなん

【行事のご招待等】

京都イタリア料理研究会、ヤッサン一座の紙芝居はるる、琢磨会、奥井裕子、来家恵美子、京都中小企業家同友会（就労体験）、シマダデンタルクリニック（歯科矯正）

【ご助成】

一般財団法人日本児童養護施設財団、一般財団法人篠原欣子記念財団、公益財団法人稲盛福祉財団、公益財団法人公益推進協会

●●● 助成事業完了のご報告 ●●●

この度、公益財団法人稲盛福祉財団様よりご助成いただき、迦陵園の講堂をキッチンダイニングへと改修することができました。迦陵園で生活する子どもたちは、何十年もの間、食堂と調理場が別棟にある為に、生活棟から食事のできる場所まで毎日、移動しなければいけない状況でした。子どもたちにとって自分が食べる食事がどのように調理されるかを見ることができない状態でした。この度の改修により子どもたちの生活に食事をより密接に感じれるようにさせていただきました。誠にありがとうございました。



●●● つどいの広場こがものご案内 ●●●

開所日：月・火・水・金・土（休館日：木・日・祝祭日・年未年始）

時間：10：00～16：00

対象：就学前のお子さんと保護者、プレママさんなど

利用料：無料

予約方法：電話 075-701-0292

メール tsudoi-kogamo@karyouen.ne.jp

※当日のご予約は電話にてお願いいたします。

